

## 温暖化に対応する花きの多用途利用に向けた商品化

- 実施期間：令4年～8年度
- 担当部署：花き部
- 区分：プロジェクト研究（農業の気候変動適応プロジェクト）
- 研究内容

地球温暖化の進行によって夏期の高温は常態化し、多くの花き品目で品質低下や生育不良が起っています。このため、ミニバラ等では施設栽培においても夏期生産の回避を余儀なくされています。

一方で、当センターは、これまでの研究からサボテンに優れた抗酸化能と育毛効果を見出しているほか、食用花の普及につれて栄養面での評価も進んで、花きにも野菜以上の栄養価や機能性を有することが報告されています。

そこで、高温耐性に優れるサボテンやマリーゴールド等の草花について、新たな機能性を見出し、健康補助食品等の加工原料としての商品化を図るとともに、食用に対応できる安全性や生産性に合致した栽培法を確立することで、観賞以外の多用途化を実現し、生産者の経営安定と新規就農の支援に貢献します。

### ○高温でも栽培可能な品目・品種、食用への展開と機能性の付与

#### サボテンやエディブルフラワーの機能性とその利用

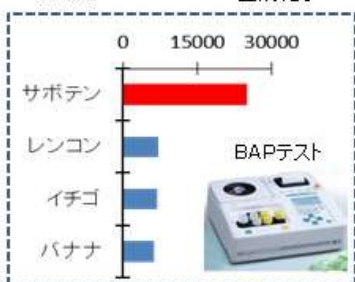


青王丸

墨烏帽子



エディブルフラワー



- 極めて高い抗酸化能
- 成分分析
- 機能性成分の抽出



### ○夏季の安定生産、安全性の担保、高機能性健康補助食品の開発

#### 加工に対応する安心・安全な安定生産



- 遮熱等による安定生産技術
- 有機JASに対応可能な無化学農薬栽培



#### サプリメント(健康補助食品)の商品化



- 抽出・加工技術
- 試作品の開発

- 機能性の解析・評価
- 組合わせによる高機能化

